

# 898. regularly convex set = 就テ

吉田 耕作 (阪大)

Banach 空間  $E$  の共軛空間  $\bar{E}$  内ノ集合  $K$  が regularly convex テアルト云フノハ、任意ノ  $f_0 \in K$  對シテ  $\chi_0 \in E$  が存在シテ、

$$\boxed{\sup_{f \in K} f(\chi_0) < f_0(\chi_0)} \quad \text{ノ成立ツコトデア$$

ル。定義カラ容易ニワカルマウニ斯ル  $K$  ハ convex テナケレバナラナイ。實ハ regularly convex ナル概念ヲ導入シタ。Krein ト Smulyan<sup>(1)</sup> ハ

**定理**  $\bar{E}$  ノ convex ナ集合  $K$  が reg. convex ナタメノ必要且ツ充分ノ條件ハ  $K$  が functional トシテノ weak topology ヲ閉カテ居ルコトデアアル。

ヲ証明シテ居ル。尤モ之、二人ハ「transfinitely closed」ト云フ言葉ヲ使ツテ居ルガ同ジコトデアアル。

以下ニハ  $E$  ノ (強) 閉凸集合ト  $\bar{E}$  ノ reg. convex ナ集合トノ間ニアル「duality」ノ存スルコトヲ注意シタイ

(1) Ann. of Math. 41, 3 (1940)

ト思フ。之ノ注意ヲスレバ幾何學的ナ意味ガワカルヤウニ  
思フ。

①  $E$ ノ集合  $X =$  對シテ, 全テノ  $x \in X =$  於テ  $f(x) \leq 1$  ナル如キ  $f \in \bar{E}$  全体ノ集合ヲ  $X^*$ .  $E$ ノ集合  $Y =$  對シテ, 全テノ  $f \in Y =$  於テ  $f(x) \leq 1$  ナル如キ  $x \in E$  全体ノ集合ヲ  $Y'$ . ト置ク。

$$\text{然ラハ} \quad X^{**} = X^*, \quad Y'^{*} = Y'$$

証明.  $X \subseteq X^*$ ,  $Y \subseteq Y'^{*}$ . 且ツ  $X_1 \supseteq X_2, Y_1 \supseteq Y_2$  ナラバ  $X_1^{*'} \supseteq X_2^{*'}, Y_1'^{*} \supseteq Y_2'^{*}$  カラ明カ。

②  $X^{*}$ ハ  $X$ ノ点ト  $0$ カラ張ラレル凸集合  $\text{conv}(X, 0)$ ノ (強)閉被  $\overline{\text{conv}(X, 0)}$  デアル。又  $0$ ヲ含ム  $E$ ノ (強)閉凸集合  $X$ ハ  $X^{*'} = X$ ヲ満足スル。

証明. 定義カラ明ニ  $X^{*'} \supseteq \overline{\text{conv}(X, 0)}$ . ヨツテ若シ  $x_0 \in X^{*'} - \overline{\text{conv}(X, 0)}$  トスルト, Ascoli-Mazurノ定理<sup>(1)</sup>ニヨツテ  $f_0(x_0) > 1$  且ツ  $x \in \overline{\text{conv}(X, 0)}$  ナラ  $f_0(x) \leq 1$  ナル如キ  $f_0 \in \bar{E}$ ガ存在スル。然ラハ  $f_0 \in X^*$  デアリ, 従ツテ  $x_0 \in X^{*}$  トナリ矛盾デアル。後ノ部分ノ証明ニ同様ニシテ得ラレル。

③  $Y'^{*}$ ハ  $Y$ ノ点ト  $0$ カラ張ラレル凸集合  $\text{conv}(Y, 0)$ ノ (functional トシテノ weak topology

(1) Über konvexe Mengen im linearen normierten Räumen. Stud. Math. 4.

= 3) 閉被  $\overline{\text{conv}}(Y, 0)$  である。又  $0$  を含む  $E$ ,  
 (f. w. t.) 閉凸集合  $Y$  は  $Y'^* = Y$  を満足スル。

証明. 定義から明 =  $Y'^* \cong \overline{\text{conv}}(Y, 0)$ . 3) かつ  
 若し  $f_0 \in Y'^* - \overline{\text{conv}}(Y, 0)$  ならば,  $\varepsilon > 0$  及び  $x_1, x_2, \dots, x_n \in E$  が存在して, 凡て  $f \in \overline{\text{conv}}(Y, 0)$   
 に対して

$$\max_{1 \leq i \leq n} |f(x_i) - f_0(x_i)| > \varepsilon$$

従って  $n$  次元ユークリッド空間の点  $\xi_0 = (f_0(x_1), f_0(x_2), \dots, f_0(x_n))$   
 $\xi_f = (f(x_1), f(x_2), \dots, f(x_n))$ .  
 $f \in \overline{\text{conv}}(Y, 0)$  の何れか  $\varepsilon$  距離  $> \varepsilon$ .  $f$  が  $\overline{\text{conv}}(Y, 0)$  を動くとき  $\xi_f$  は  $n$  次元空間内を凸集合を作ル。3) かつ Ascoli-Mazur の定理 (有限次元の場合) で実数  $\alpha_1, \alpha_2, \dots, \alpha_n$  が存在して,

$$\sum_{i=1}^n \alpha_i f_0(x_i) > 1 \text{ 且つ 全て } f \in \overline{\text{conv}}(Y, 0) = \text{ 對}$$

$$\text{して } \sum_{i=1}^n \alpha_i f(x_i) \leq 1. \text{ 其所で } x_0 = \sum_{i=1}^n \alpha_i x_i \in E \text{ かつ}$$

$= Y'$  の点である。3) かつ  $f_0 \in Y'^*$  なる矛盾を得ル。最後の部分の証明は同様にして得ラレル。

[4] 上から  $0$  を含む reg. convex set  $Y$  は  $X^*$  の形ナルコト及び其ノ逆ガワカッタ。又一般ノ reg. convex set  $Y$  から  $\overline{\text{conv}}(Y, 0)$  を作ルト  $X^*$  の形ナル事及び其逆モワカッタ。

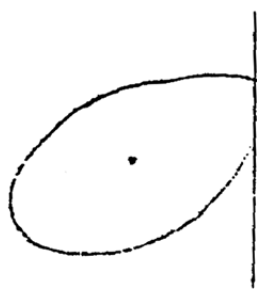
[5] *reg. convex set*  $X^{*'} \bar{E}$  が  $E =$  於ケル有界集合ナルコトト,  $E$  の (強)閉凸集合  $X^{*'}$  が  $O$  を内点ニスルコトトハ同等デアール。

証明.  $X^{*}$  が有界集合ニシテ且ツ  $X^{*'}$  が  $O$  を内点ニシテイトスル。然ラバ  $\|f\| \leq \alpha$  for  $f \in X^{*}$ , 且ツ  $x_i \in \bar{X}^{*'} =$  シテ  $\lim_{i \rightarrow \infty} \|x_i\| = 0$  ナル数列  $\{x_i\} \subseteq E$  が存在スル:  $|f(x_i)| \leq \|f\| \cdot \|x_i\| \leq \alpha \|x_i\|$  カラ之レハ矛盾デアール。次ニ  $X^{*'}$  が球  $\|x\| \leq \beta, \beta > 0$  を含ミ, 且ツ  $X^{*}$  が有界集合デアイトスル。然ラバ  $\|x_0\| = \beta$  且ツ  $f_0(x_0) > 1$  或  $f_0(x_0) < -1$  ナル  $f_0 \in X^{*}, x_0 \in X^{*'}$  が存在スル。  $f_0(x_0) > 1$  ノトキハ矛盾ナシ, 又  $f(x_0) < -1$  ノトキハ  $f_0(-x_0) > 1, x_0 \in X^{*'}$  カラ矛盾デアール。

[6] Krein-Milman の *Studia Math.* 9 (未着) デ, 有界 + *reg. convex set*  $K =$  極点  $extreme point$  が存在スル。ヲ証明シテ居ル。  
 $f_0 \in K$  が  $K$  の  $extreme point$  デアールト云フノハ如何ナル  $g, h \in K$  に対シテモ  $f_0 \neq \frac{1}{2}(g+h)$  ナルコトデアール。之ノ証明ハ「深宮氏」ニヨツテ得ラレタ。(本号深宮氏ノ談話ヲ見ラレタイ)。 *transfinite induction* ニヨル鮮カキ証明デアール。

所デ若シ  $E$  ヲ separable ト假定スルト, Mazur, *loc. cit.* ニヨリ  $E$  ノ原点ヲ内点トスル (強)閉凸集合  $X^{*'}$  には必ず切超平面が *unique* ナ boundary point が存在スル。即チ  $f_0(x_0) = 1$

且ツ  $x \in X^{*'} \text{ 对 } f_0(x) \leq 1$  且ル如キ  $f_0 \in \bar{E}$  が唯一ツ  
 定マル如キ  $x_0 \in X^{*'} \text{ が存在スル。ヨツテ斯ル } f_0 \text{ 八 } \text{reg.}$   
 $\text{convex} \text{ 十 } X^{*'} \text{ 八 extreme point} \text{ 十 ツツル。}$   
 故カラ  $\text{reg. convex set}$  が  $0$  を含ムヤウ = 移動シト  
 イテ  $E$  separable 十 場合八 Krein-Šmulian  
 八 定理が証明サレタ コト 十 ナル。然シ  $E$  separable  
 デ 十 場合, 例ハバ Banach 空間  $(M)$  八 単位球 八 如  
 ク表面上 到ル 所切 超平面が unique 十 十 十  $X^{*'}$  が  
 存在スルカラ, 一般ノ 場合八 深宮氏ノ 証明サレタヤウナ  
 方法デヤラ 十 イト イケ 十 イ様デアアル。深宮氏ノ 証明ハ 下圖  
 八 如キ 切超平面ト 求メ ラレタ コト 十 ナル 様デアラウ。(1)



□ Krein-Šmulian, Annals, 論文  
 八 第 1 卷, 部分ハ上ノ interpretation デ 殆ソド  
 trivial — 之ハ 角谷君ノ 寺紙 (前談話) =  $\epsilon$   
 functional ト シテ, weak topology デ  
 trivial ト アリマシタ。中デ 一 論 難シ 相ナ。

$K \in \bar{E}$  が  $\text{reg. convex}$  = 十 ル タメノ 必要條件

(1) 兎ニ 角 non-separable 十 場合, 証明ハ trans-  
 finite 十 考ヘガ ドウシテモ 必要ト 思ハレル。

ハ、 $K$ ト任意ノ有界 *reg. convex set* トノ共通集合  
が全テ *reg. convex* ナル事。

ト云フ定理ノ証明等モ上ノ *duality* カラ目ニ見エ  
テラ譯デス。